

WTS 横浜大会 エリート CP7 マニュアル

1、タイムスケジュール

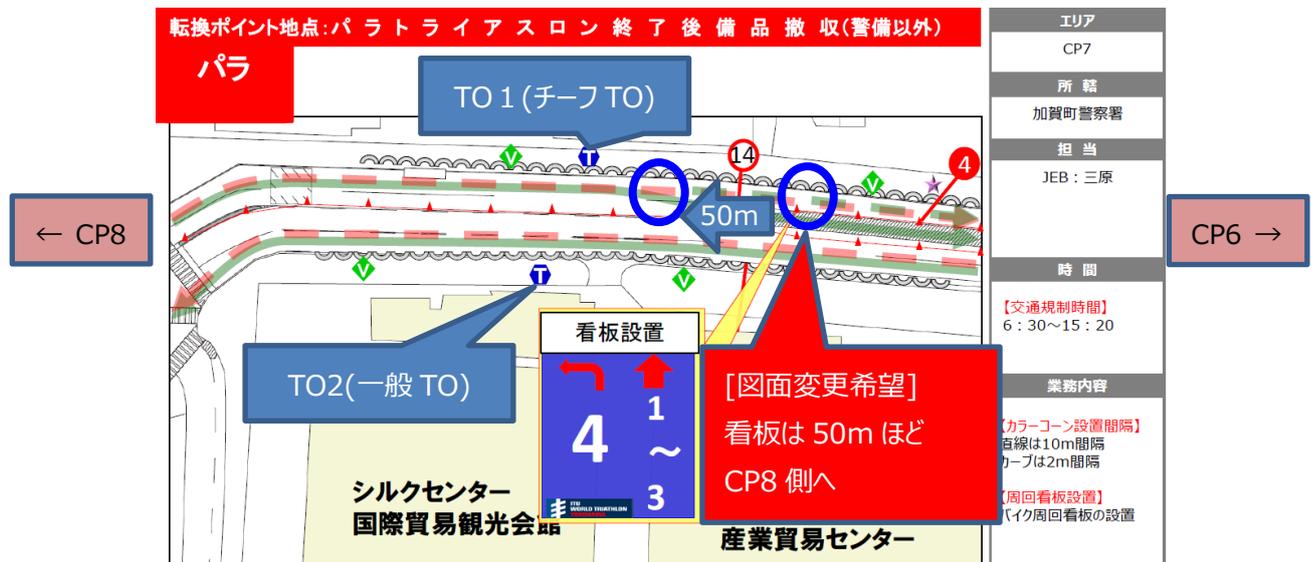
- 06:30 交通規制開始 カラーコーン・プラ柵・立ち入り禁止テープの設置
- 06:50 パラスタート
- 10:16 女子スタート
- 13:06 男子スタート
- 15:20 交通規制解除 カラーコーン・プラ柵・立ち入り禁止テープの撤去

※昼食は、女子が終了してから男子が始まる迄の間にとることに。

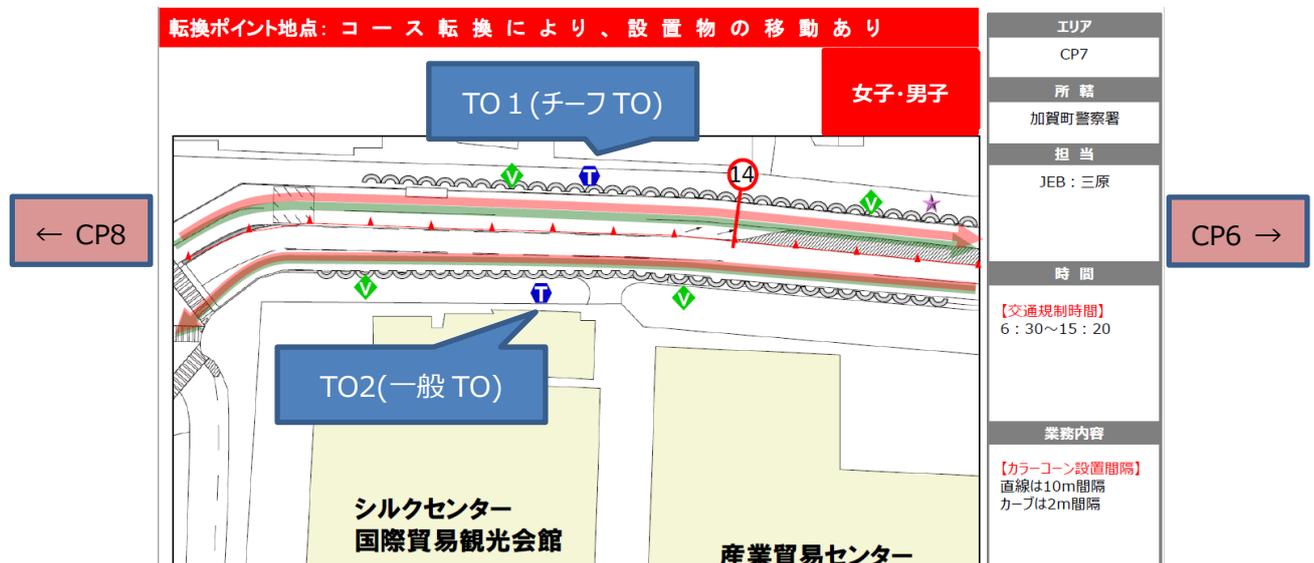
全員(2人)で行かず、半分(1人)ずつ行き、必ず半分は残ること。

2、配置

＜パラ競技時のコース設営マニュアル図面＞ 6:50～9:00 頃



＜女子・男子 競技時のコース設営マニュアル図面＞ 10:16～15:20



3、役割

+CP7 (エリート競技共通)

- ・ バイク、及びランコースを監視する。

<監視対応内容>

- ・ チーフ T0、一般 T0 が海側・山側の車道の両サイドに分かれて配置する。
 - ・ チーフ T0 は、緊急時の本部とのやりとりを円滑にすることと、レース中の看板の設置調整等を実施するため、海側を対応する。
 - ・ プラ柵・立入禁止テープの内側(歩道側)に立って対応することを基本とする。
 - ・ 沿道の観客がコース内に立入り、横断しないよう監視する。
(特に、NF のコーチが身を乗り出して危険な場面が多いため、毅然と注意すること。)
 - ・ 担当ボランティアに監視対応内容とポジションを説明し、レース中の状況にて必要に応じて対応変更内容を指示する。
 - ・ リタイア選手のアンクルバンドを回収する。
(一般 T0 ⇒ チーフ T0 ⇒ 本部 へ届ける)
- ・ 選手接近に伴う手旗の合図は、下記の通り実施する。(2018 年実績より)

<CP6 向け>

CP8 からの選手接近時に白旗を上げることで合図を実施。(バイク・ランともに)

→YP7 山下公園内の横断路制御のための、選手接近情報伝達。

<CP8 向け>

手旗の合図は実施しない

→CP8 の T0 にて見通しで選手接近が確認できるため。

- ※ チーフ T0 は、レース開始前に上記オペレーション隣接 CP(CP6, CP8)と協議し、当日の天候状況などを加味して対応内容に問題が無いことを確認すること。対応方法の変更が必要と判断される場合は柔軟に対応内容を決定する。

注)・赤旗は緊急時の時のみ使用すること。(集団落車等)

- ・ レース中に不必要な写真撮影 (SNS 用等) は、行わないこと。休憩時間にする。
- ・ 出来るだけ TV に映らずに、仕事を出来る位置にいること。
※横浜大会は TO が TV に映り過ぎると、ITU から苦情が来ている。
- ・ 体を張って制しても歩行者が通ってしまった場合は、無理に戻そうとせず、早く反対側の歩道に行くように促すこと。
- ・ 熱中症防止のための水は各自確保すること。

+CP7 (パラ競技時)

- ・ 進入予告看板を設置する。

<進入予告看板について>

- ・ パラ競技中は、CP6 にて、バイクの1~3周目に道路を直進、4周目に左折して山下公園へ侵入するための進入予告看板を設置し、適切な誘導ができるようコーンの設営/調整を実施する。用意されている予告看板1枚をNTOと相談して適切な位置に設置する。



(2018年の設置看板)

+CP7 (女子・男子競技時)

- ・ PENALTY BOX 予告看板を設置する。

<PENALTY BOX 予告看板について>

- ・ バイク競技中は、「大棧橋」バス停の脇に、選手から見えないように仮置きしておく。
- ・ バイクの最終ラップにて最終選手がCP6側に通過後、ランの先頭選手が到着する前までに、「大棧橋」バス停横に設置する。(チーフT0が設置を実施)



(2018年の設置看板)

4、備品

- ・赤旗×2本
- ・白旗×2本
- ・メガホン×1
- ・立ち入り禁止テープ or 黄色テープ 4巻
- ・「進入予告看板」(パラ競技用) ×1
- ・「PENALTY BOX 200m AHEAD 看板」 ×1